

2010年2月8日 NEWS RELEASE No.60

『第4回 しょうゆ感想文コンクール』入賞者決定！
—全国の小学生(3年～6年)から、1,139点の応募—

日本醤油協会(会長 濱口道雄)では「食育」推進の一環として、「第4回しょうゆ感想文コンクール」を実施いたしました。

この感想文コンクールは、「食育」推進の一環として実施している「しょうゆ もの知り博士の出前授業」や「工場見学」「学校の調べ学習」と連動した企画で、全国の小学生(3年生～6年生)を対象に、それぞれの部門で体験したことを感想文という形で記録にとどめていただくために、広く自由な発想の感想文を募集した企画です。(平成21年12月25日応募締め切り)

全国の児童から3部門に1,139点(「出前授業部門」:712点、「工場見学部門」:236点、「調べ学習部門」:191点)の応募をいただきました。それぞれの部門に日本の伝統調味料・しょうゆについて、子供らしい感性豊かな感想文が数多く寄せられました。

去る1月29日(金)に、下記の選考委員による「審査委員会」を開催し、厳正な審査の結果、別紙のとおり、各部門の受賞作品を決定いたしました。

なお、「審査委員会」では、予備審査を通過した71点の作品の中から、A:創造性(構想力)、B:文章力、C:発展性、等を選考基準として、厳正な選考を行いました。

《第4回「しょうゆ感想文コンクール」審査委員(敬称略・順不同)》

嶋野道弘(文教大学教育学部教授)
奈須正裕(上智大学総合人間科学部教授)
畑江敬子(和洋女子大学家政学部教授/お茶の水女子大学名誉教授)
松田博康(玉川大学教職センター教授)
正田 隆(醤油PR運営委員会委員長)
金子 収(日本醤油協会専務理事)

また、「第5回 しょうゆ感想文コンクール」は、「出前授業部門」「工場見学部

門」「調べ学習部門」を対象にして、本年4月より開始いたします（応募締め切り：平成22年12月17日予定）。これまで以上に全国の多くの児童の皆さんからのご応募をお待ちしています。

以上の件に関する取材のお問合せは

しょうゆ情報センター（醤油PR協議会）
大関 恒雄（事務局長）、中川美代子
住所 東京都中央区日本橋小網町3-11（〒103-0016）
電話 03-3666-3286 FAX 03-3667-2216
URL：<http://www.soyssauce.or.jp> E-mail soyic@soysauce.or.jp

「第4回しょうゆ感想文コンクール」最優秀賞 講評（審査委員会）

● 「出前授業部門」 最優秀賞

「しょうゆを知りつくすスーパー博士!!」水野清香さん（福井県・福井大学教育地域科学部附属小学校）

出前授業で受けた感動を、他人にも伝えたいという思いであふれた文章です。緑色をしたぐじゅぐじゅの「こうじ菌」がしょうゆづくりに一番大事なことにびっくりし、原料の大豆のたんぱく質が自分の体づくりに必要なだけでなく、しょうゆのおいしさのカギを握っていること、ホットプレートを使って出した香ばしいにおいのヒミツを知った喜びを、自分の言葉で素直に表現しています。そうした知的喜びがタイトルとなって、出前授業を受けた「しょうゆもの知り博士」への賛辞となっています。その表現力が最優秀に値すると選ばれました。

● 「工場見学部門」 最優秀賞

「百年前の樽が造り出す香り」幡鎌 薫さん（奈良県・学校法人帝塚山学園帝塚山小学校）

見学に行ったしょうゆ工場内の天窓についていたふわふわとした白いものが、「こうじ菌」だと知り、工場独自のしょうゆをつくりだすことに納得すると同時に、人の手によるしょうゆ麴づくりの大切さを知る。しょうゆ樽の「かい棒」を実際に使ってみて「しんどさ」を体験する。その時に聞こえた「ぽこぽこ……」という音が、しょうゆが生きている証と実感し、「しんどい」作業の大切さと、百年前から使われている樽の価値を知る。まさに体験した者でしかわからない表現と構成が見事だと、最優秀賞に選ばれました。

● 「調べ学習部門」 最優秀賞

「世界のしょうゆ」藤井理紗さん（和歌山県・智辯学園和歌山小学校）

しょうゆという日本の味が、世界の味になっていることを確認する中で、ハワイで生産されている「ショーユ」に注目。日本と同じ中身で、味も同じと思っていたら、さらっとした塩味だった。さらに中国では香りや味よりも色づけに重きがおかれ、カラメルを加えているものも。同じしょうゆと言っても国々によって違っていることに気づく。国々によって違っている味を、振り返って日本各地に見ると、同じ日本でも地域によって、色や味、香りが違い、使い方も違うことに気づき、興味を膨らませて行く。文章の構成が優れ、調べ学習の過程がよく分かる表現になっていると最優秀賞に選定されました。

第4回しょうゆ感想文コンクール 入賞者一覧

2010年2月8日

主催：日本醤油協会

審査委員：嶋野道弘(文教大学教授)、奈須正裕(上智大学教授)、
畑江敬子(和洋女子大学教授)、松田博康(玉川大学教授)、
正田 隆(醤油PR運営委員会委員長)、金子 収(日本醤油協会専務理事)

賞名	受賞者詳細							
1. 最優秀賞 (各部門1点・計3点)	部門	1. 出前授業	都道府県	福井県	学校名	福井大学教育地域科学部附属小学校	学年	3
	作品名	しょうゆを知りつくすスーパー博士！！				氏名	水野 清香	
	部門	2. 工場見学	都道府県	奈良県	学校名	学校法人帝塚山学園帝塚山小学校	学年	5
	作品名	百年前の樽が造り出す香り				氏名	幡鎌 薫	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	和歌山県	学校名	智辯学園和歌山小学校	学年	6
	作品名	世界のしょうゆ				氏名	藤井 理紗	
2. 優秀賞 (各部門1点・計3点)	部門	1. 出前授業	都道府県	愛知県	学校名	岡崎市立緑丘小学校	学年	5
	作品名	しょうゆマジック				氏名	杉浦 いおり	
	部門	2. 工場見学	都道府県	岩手県	学校名	陸前高田市立長部小学校	学年	3
	作品名	八木澤のしょう油は岩手一				氏名	荒木 顕仁	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	静岡県	学校名	藤枝市立西益津小学校	学年	5
	作品名	しょうゆの種類と塩分の関係				氏名	内山 亜希乃	
3. 佳作 (各部門5点・計15点)	部門	1. 出前授業	都道府県	福井県	学校名	福井大学教育地域科学部附属小学校	学年	3
	作品名	ヒーローはカビだった				氏名	井上 公輔	
	部門	1. 出前授業	都道府県	山梨県	学校名	南アルプス市立八田小学校	学年	3
	作品名	しょう油はかせが来た				氏名	中島 優花	
	部門	1. 出前授業	都道府県	東京都	学校名	小平市立学園東小学校	学年	5
	作品名	醤油への思い				氏名	雨宮 衣里	
	部門	1. 出前授業	都道府県	神奈川県	学校名	横浜市立西柴小学校	学年	5
	作品名	いる？いない？しょう油ってなんだ				氏名	西川 桜衣	
	部門	1. 出前授業	都道府県	大阪府	学校名	八尾市立南山本小学校	学年	3
	作品名	しょうゆのひみつ				氏名	吉川 怜那	
	部門	2. 工場見学	都道府県	福井県	学校名	福井大学教育地域科学部附属小学校	学年	3
	作品名	しょうゆの秘密				氏名	織田 遥向	
	部門	2. 工場見学	都道府県	香川県	学校名	小豆島町立安田小学校	学年	3
	作品名	ヤマヒサしょう油を見学して				氏名	植松 瑞歩	
	部門	2. 工場見学	都道府県	香川県	学校名	小豆島町立星城小学校	学年	5
	作品名	工場見学をしてみて				氏名	菅原 飛翔	
	部門	2. 工場見学	都道府県	香川県	学校名	小豆島町立苗羽小学校	学年	5
	作品名	6ミクロパワー				氏名	板倉 大起	
	部門	2. 工場見学	都道府県	香川県	学校名	小豆島町立苗羽小学校	学年	5
	作品名	小豆島の文化～しょう油～				氏名	カステヤレス ケンジ	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	香川県	学校名	小豆島町立星城小学校	学年	5
	作品名	あなたはつけだし派？かけだし派？				氏名	篠田 涼葉	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	和歌山県	学校名	智辯学園和歌山小学校	学年	6
	作品名	しょうゆは日本の誇り				氏名	藤本 真穂	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	和歌山県	学校名	智辯学園和歌山小学校	学年	6
	作品名	しょうゆの起源、湯浅しょうゆ				氏名	安井 理人	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	東京都	学校名	小平市立学園東小学校	学年	5
	作品名	醤油について				氏名	野口 めぐみ	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	群馬県	学校名	沼田市立沼田小学校	学年	4
	作品名	しょうゆについて				氏名	高島 沙希	
4. 審査委員特別賞 (各部門1点・計3点)	部門	1. 出前授業	都道府県	石川県	学校名	金沢市立三谷小学校	学年	6
	作品名	醤油への関心				氏名	本 理紗	
	部門	2. 工場見学	都道府県	愛知県	学校名	一宮市立黒田小学校	学年	5
	作品名	しょうゆ工場を見学したよ				氏名	綾 洋斗	
	部門	3. 調べ学習	都道府県	和歌山県	学校名	智辯学園和歌山小学校	学年	6
	作品名	日本人の知恵				氏名	小畑 真寿	

※学年は平成21(2009)年度です。

賞名	都道府県	学校名
団体奨励賞(1校)	福井県	福井大学教育地域科学部附属小学校